



令和8年2月9日～令和8年6月30日 申請用

所得状況に関する同意書(自立支援医療〈精神通院〉用)

令和 年 月 日

練馬区長 宛て

私の自立支援医療(精神通院)の申請および支給認定に伴い、私および私の同一世帯員の特別区民税の課税状況、国民健康保険等の加入状況および障害年金・遺族年金等の受給状況について、確認することに同意します。

申請者氏名 \_\_\_\_\_  
( 代行者氏名 : \_\_\_\_\_  
申請者との関係 : \_\_\_\_\_ )

以下の該当する項目に☑をして下さい。

【 18歳以下 ※1 の方を扶養されていますか 】

☐ 扶養している ☐ 扶養していない  

0-15歳( 人 )  
16-18歳( 人 )

↓↓ 申請者の住民税が非課税の場合にお答えください↓↓

【 障害年金・遺族年金等 ※2 を受給していますか 】

☐ 受給している ☐ 受給していない

【 受給されている場合、その合計額 ※3 は 】

☐ 年額80万9千円を超えている  

障害年金が1級の方  
障害年金が2級で80万9千円を超えている方  
障害年金が3級で80万9千円を超えている方

☐ 年額80万9千円以下である  

左記以外の方

※1 課税年度の前年の12月31日時点の年齢  
※2 障害年金、遺族年金、特別障害給付金、労災に基づく障害給付金(傷病手当は除く)、特別障害者手当、特別児童扶養手当  
※3 令和6年1月～12月に支給された額の合計

【区担当者記入欄】

□ 社会保険(被用者保険)加入者      ※ 被保険者 → □ 申請者本人      □ 他の者

	氏 名	①区民税所得割額 ※寄付金控除額と住宅ローン 控除額は足して判定	②18歳以下扶養者数 ※該当者がいれば計算 シートを作成して判定	非課税の場合	
				③年金収入額 80万9千 <b>超え</b> → 低Ⅱ その他の場合 → ④へ	④合計所得金額+年金収入額 80万9千以下 → 低Ⅰ 80万9千 <b>超え</b> → 低Ⅱ
被保険者			0 -15 歳 (    人 ) 16-18 歳 (    人 )		
申請者			0 -15 歳 (    人 ) 16-18 歳 (    人 )		
★被保険者が非課税の場合のみ★					

□ 練馬区国保・後期高齢・国保組合加入者

	氏 名 (18歳以上の者のみ)	①区民税所得割額 ※寄付金控除額と住宅ローン 控除額は足して判定	②18歳以下扶養者数 ※該当者がいれば計算 シートを作成して判定	全員非課税の場合	
				③年金収入額 80万9千 <b>超え</b> → 低Ⅱ その他の場合 → ④へ	④合計所得金額+年金収入額 80万9千以下 → 低Ⅰ 80万9千 <b>超え</b> → 低Ⅱ
申請者			0 -15 歳 (    人 ) 16-18 歳 (    人 )		
同一 保険 加入 者			<b>※ 所得区分判定上の注意事項</b>  1 社会保険(被用者保険)の場合、申請者の保険証の被保険者の所得(収入額)で判定。ただし、被保険者が非課税の場合は申請者の合計収入額で低Ⅰか低Ⅱかを判定。 2 申請者が18歳未満の場合は保護者の所得(非課税の場合は収入)で判定。 3 18歳以下の扶養者がいた場合は、別紙の「旧市町村民税所得割額計算シート」に扶養者人数と区民税所得割額を入力して判定。 4 低Ⅰ・低Ⅱで練馬区国保の場合は、国保申請書を取り、他の保険の場合は都単となる。 5 <u>障害年金等の年額が80万9千円以下で、他に所得がある方は、年額を申請者へ聞き取りの上、低Ⅰか低Ⅱかを判定。</u>		
合計					

★ 所得区分判定

判定	所得区分	区民税所得割額	収入額 ・ 注意事項
	低Ⅰ	非課税	①年金収入額が 80万9千 <b>超え</b> → 低Ⅱ その他の場合 → ②の判定へ
	低Ⅱ	練馬区国保加入者 → 国保申請書が必要 その他の健康保険 → 都単になる	②合計所得金額+年金収入額 80万9千以下 → 低Ⅰ、80万9千 <b>超え</b> → 低Ⅱ
	中Ⅰ	33,000円未満(均等割のみの者も含む)	「重度かつ継続」の対象範囲 F0、F1、F2、F3、G40 その他(精神医療に一定以上の経験を有する医師が診断)
	中Ⅱ	33,000円以上 ~ 235,000円未満	
	一定以上	235,000円以上	重度かつ継続に該当すること (該当しない場合は非該当)